



北野フイニさん

トーマス アメリカの大学を卒業して、アメリカで学校の先生になろうと思っていました。世の中のことを知るため、まずは、いろいろな場所を経験を積もうと考えました。以前から日本に興味があり、大学で日本語も勉強していたので「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」に申し込んで日本に来て、津山で英語を教えることになりました。

蓉子 結婚がきっかけで大阪に来て、夫の仕事の関係で美作市に引っ越しました。しばらくそこで暮らしていたのですが、子どもが中学生になる前に、自宅から中学校までの通学距離がより近い所に引っ越そうと考え、子どもが小学6年生の時に津山に引っ越して来ました。

フイニ 夫がインドネシアで働いている時に知り合って、インドネシアで結婚しました。夫が5年間の仕事を終えた後、一緒に日本へ来ました。最初は、大阪に住んでいましたが、しばらくして三重県に引っ越し、そして10年前に津山に引っ越して来ました。

市長 皆さん、いろいろな縁があって津山に来られたのです。



津山に住んでみて思ったことは？

トーマス コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど、お店がたくさんあり、買い物に便利だと感じています。

しかし、いろいろなところに行こうと思った時、自動車を持っていないと不便だと感じます。また、なかなか郊外のスーパーマーケットに出掛けようと思った時、わたしの交通手段は自転車なので行くのが面倒になったり、天候が悪いため諦めてしまったりしたこともあります。

市長 津山での移動手段には、公共交通であるJRやバスがあります。ごんごバスに乘られたことがありますか。

トーマス 最近になって、ごんごバスの存在を知ったので、まだ乗ったことがありません。

フイニ 津山に来て間もないころ、日本語を読むことができませんでした。ごんごバスを初めて利用した時、案内表記が漢字ばかりで理解できなくて、バスに乗ることがとても不安だったのを覚えています。



トーマス・グーさん



なぜ津山に 来られたのですか

トーマス アメリカの大学を卒業して、アメリカで学校の先生になろうと思っていました。世の中のことを知るため、まずは、いろいろな場所を経験を積もうと考えました。以前から日本に興味があり、大学で日本語も勉強していたので「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」に申し込んで日本に来て、津山で英語を教えることになりました。

蓉子 結婚がきっかけで大阪に来て、夫の仕事の関係で美作市に引っ越しました。しばらくそこで暮らしていたのですが、子どもが中学生になる前に、自宅から中学校までの通学距離がより近い所に引っ越そうと考え、子どもが小学6年生の時に津山に引っ越して来ました。

フイニ 夫がインドネシアで働いている時に知り合って、インドネシアで結婚しました。夫が5年間の仕事を終えた後、一緒に日本へ来ました。最初は、大阪に住んでいましたが、しばらくして三重県に引っ越し、そして10年前に津山に引っ越して来ました。

市長 皆さん、いろいろな縁があって津山に来られたのです。



初めて津山に 来た時の印象は？

蓉子 銀行や病院、お店などがたくさんあり、人通りも多いので都会だと感じました。近くにスーパーマーケットなどがあるので、買い物をするのがとても便利です。

トーマス 津山に来る前、岡山県内に配属されている外国語指導助手の人たちに「あなたはどこのまちで先生をするのですか」と尋ねられ、「津山市です」と答えると「津山はとつても田舎ですよ」と言われました。

田舎と聞き、周りには何も無くて牛や馬しかいないような風景を思い浮かべていました。しかし、津山に来てみると、そんなに田舎ではないと感じました。

フイニ 津山駅を降りた時、とても空気がきれい、景色が良いまちだと思いました。ただ、来た時期が1月だったので、とても寒く感じました。

市長 津山には、家が密集している所があり、いろいろなお店もあるので、にぎやかなまちだと感じられているのです。周囲を山で囲まれた盆地特有の気候で、一日のうちの昼と夜の温度差や梅雨の時期の湿度の高さなど、気候の特徴に驚かれたのかもしれない。



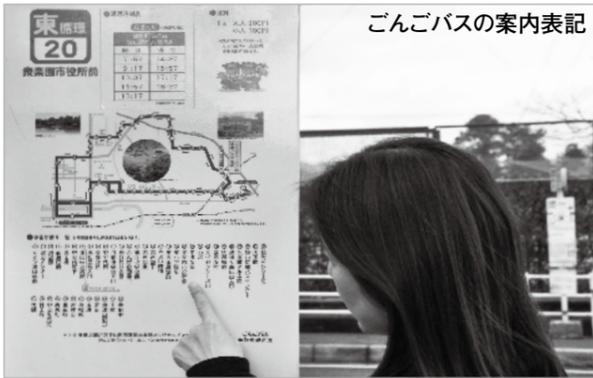
中心市街地の様子

蓉子 わたしは、ローマ字やひらがな、カタカナよりも漢字表記の方が分かりやすいです。

市長 日本語表記の意味が分からなければ、とても不安になります。案内や説明などの表記が、外国出身の人にとって分かりやすいようにしなければいけませんね。

外国出身の人の中には母国語以外で、英語と日本語を話す人もいます。北野さんは、日本語や英語が上手ですが、インドネシアに住んでいた時から英語を話されていたのですか。

フイニ インドネシアではインドネシア語で話していましたが、英語でも少し話していました。以前は、いろいろな外国出身の友だちが市内にいて英語で会話をしていたが、ほとんどの人が帰国してしまい、英語で会話する機会が減ってしまいました。だからだんだん英語を忘れてきてしまいました。



ごんごバスの案内表記



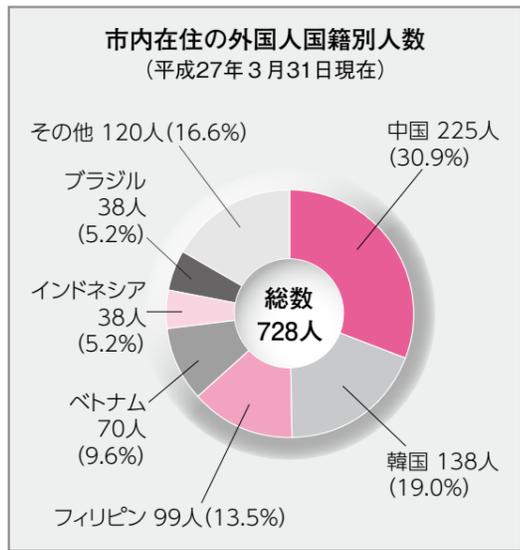
津山と外国の お正月の違いは？

フイニ わたしの国では、家族によってさまざまな過ごし方をします。わたしの家では、毎年パーベキューをします。新年のカウントダウンをしながら、年が明けた瞬間に小さな花火を上げます。

トーマス わたしの国でも、家族によってさまざまな過ごし方をします。しかし、わたしの家ではお正月といっても特別なことはしません。わたしは友だちと一緒に過ごすことが多いです。どちらかというと、クリスマスの方がにぎやかですね。

蓉子 わたしの国のお正月と言えば春節（旧正月）のことで伝統的な祝日です。親戚が集まって特別な食事を食べます。爆竹が鳴ったり、龍や獅子の踊りがあったりして、とてもにぎやかですよ。

市長 国によって、いろいろな過ごし方があるのです。



鳴津蓉子さん

今では、日本人の友だちが増えて日本語を話す機会が増えたので、日本語がわかるようになり、上手く話せるようになってきていると感じます。

トーマス 英会話のことでいえば、学校などで日常的に英語で会話をする機会がもっと増えれば、良いと思っています。

アメリカの大学で日本語の授業を受けた時は、会話のやりとりを重視していました。読み書きができて、会話ができればあまり意味がありません。会話の練習をしっかりしていくことが重要だと思います。

例えば、英語を使ったゲームなどをしながら英会話の練習をすると、楽しみながら学ぶことができます。覚えるスピードがとても早くなります。

市長 いろいろな勉強もそうですが、楽しい雰囲気や学ぶということが大切ですね。

国際化に対応するためには、若い時から日常的に使う英会話などを身に付けて、国際感覚を養うことが必要だと思います。

世界の人にも津山に来てもらえるように、津山の国際化にも取り組まなければいけないと考えています。